

教科（科目）	地理歴史（歴史総合）	単位数	2単位	学年（コース）	1学年
使用教科書	山川出版社『わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版』				
副教材等	山川出版社『わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版 ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成します。</p> <p>① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。</p> <p>② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。</p> <p>③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。</p> <p>④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。</p> <p>① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。</p> <p>② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組みます。</p> <p>③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。</p> <p>④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。</p>

2 学習目標

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史的諸事象について、世界とその中の日本を相互的な視野から捉えて理解するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史的な事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる諸課題を把握し、解決を視野に入れて構想、考察したことを説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史的諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>①基本的知識の習得を目指します。</p> <p>②諸史料、統計などの各種資料を活用し、歴史的な見方や考え方の習得を目指します。</p> <p>③東アジアから広く世界に目を向け、グローバルな視点でものごとを見たり、考えたりする力を養います。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・日本と世界の近現代史の基本的な知識を身に付けている。</p> <p>・諸資料を収集し、適切に活用することができる。</p>	<p>・歴史の諸事象について、諸資料を通して多面的・多角的に考察している。</p> <p>・考察した結果を適切に表現することができる。</p>	<p>・自ら課題を設定し、すすんで諸資料を収集・分析して結論を導き出そうとしている。</p>

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <p>・定期考査</p> <p>・単元ごと的小テスト</p> <p>・授業ワークシート、ワークノート、課題探究レポートなど提出物の取り組み状況などから評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <p>・定期考査</p> <p>・単元ごと的小テスト</p> <p>・ICTを活用したグループワークの取り組み状況</p> <p>・授業ワークシート、ワークノート、課題探究レポートなど提出物の取り組み状況などから評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <p>・ICTを活用したグループワークの取り組み状況</p> <p>・授業ワークシート、ワークノート、課題探究レポートなど提出物の取り組み状況</p> <p>・振り返りや自己評価などから評価します。</p>
	<p>内容のまとめりに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりの評価基準は授業で説明します。</p>		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	近代化と私たち	1 18世紀の世界とアジア 考えてみよう！琉球と蝦夷地 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国	・18世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係について考察する。 ・琉球王国から沖縄県に至る歴史と海上交易との関係について考察する。 ・産業革命による工業生産の機械化・大規模化と世界の結びつきの変化について考察する。 ・アヘン戦争のおきた原因と戦争後の中国の変化や欧米諸国の東アジア進出について考察し、理解する。	6	授業ワークシート、ワークノート、レポート等 授業の取り組み 振り返りや自己評価
5		5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合	・開国や通商開始にあたり、日本が結んだ条約の特徴について考察し、理解する。 ・江戸時代の特徴を政治制度や外交・社会など多角的な視点から理解する。 ・開港が当時の社会にどのような影響を与えたかを考察し、理解する。 ・18世紀後半以降の欧米諸地域で市民革命がおこった背景について考察し、理解する。	3	
5	1学期中間考査			1	定期考査
5	近代化と私たち	考えてみよう！国民国家と多民族国家 8 明治維新 9 富国強兵と文明開化 10 日本の明治初期の外交 11 大日本帝国憲法の制定 12 日本の産業革命と日清戦争 13 帝国主義 14 日露戦争と韓国併合	・主権国家や国民国家形成の過程を理解する。 ・江戸幕府の滅亡から明治政府成立の過程を理解する。 ・明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容を理解する。 ・明治初期の日本が抱えていた外交課題について考察し、理解する。 ・自由民権運動が始まった背景やその後の展開について考察し、理解する。 ・明治期の日本で進展した産業革命の背景や特徴について考察し、理解する。 ・日清戦争がおこった背景と戦争の経過および講和条約の内容を理解する。 ・帝国主義時代における世界分割の特徴や列強間の国際関係の再編を考察し、理解する。 ・日露戦争から韓国併合に至る過程について理解す	4	授業ワークシート、ワークノート、レポート等 授業の取り組み 振り返りや自己評価
6				4	
7				1	
7	1学期期末考査			1	定期考査
7	国際秩序の変化や大衆化と私たち	1 大衆運動の芽ばえ 2 第一次世界大戦 3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響 5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大量生産・大量消費社会 考えてみよう！大衆文化としてのスポーツ、野球	・第一次世界大戦がおこった背景について考察し、理解する。 ・日本が第一次世界大戦に参戦した背景と欧米諸国の反応について考察し、理解する。 ・ロシア革命がおきた原因と革命の経過について考察し、理解する。 ・第一次世界大戦後の世界で人々の権利意識が高まった背景について考察し、理解する。 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴を理解する。	4	授業ワークシート、ワークノート、レポート等 授業の取り組み 振り返りや自己評価
8		9 世界恐慌 10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア侵出	・第一次世界大戦後のアジア諸地域における民族運動について理解する。 ・大量生産・大量消費社会の抱える負の側面について考察し、理解する。 ・世界恐慌がおこる過程とその影響を理解する。 ・ファシズムという概念を理解する。 ・日本がアジアに侵出した様子を理解する。	2	
9				6	
10				1	
10	2学期中間考査			1	定期考査

